



東御市

第71号
2021.11.1

議会だより

令和2年度一般会計決算審査	2～5
令和2年度特別会計・公営企業会計決算審査	6～7
令和3年度補正予算/請願・陳情	8
予算決算特別委員会報告/ 議会報告会のお知らせ	9
提出案件の審議結果/可決した予算・条例等	10
市政を問う（13人の議員が質問）	11～17
きらり★キラリ「武舎秀雄さん」	18

令和2年度 決算審査



東御市議会
ホームページ



議会Web報告会

11月12日～配信予定!!



東御市公式
YouTubeチャンネル

表紙の写真

歓喜

東部中学校 学芸発表会にて

一般会計決算審査

新型コロナウイルス感染症対策 他

市の課題対応はどうだった？



加沢新堰の水路修復状況の視察

令和2年度は令和元年台風第19号災害からの復旧事業が本格的に進みました。橋などの公共土木の復旧に7億8458万円、農業用水路など農業施設の復旧に6億3780万円が充てられ、その多くが国県の補助金、交付金を受けての事業推進です。市単独で行った事業は農業施設関連29カ所、農地関係44カ所です。

また、国の権限代行により復旧工事が進む海野宿橋（市道白鳥神社線）は、橋の部分の工事が進み、道路部分の工事も着手しています。こちらも完成予定は令和3年度中とのことです。

主な新型コロナウイルス感染症対策関連事業

経済対策	
特別定額給付金事業	30億1,670万円
地域経済活性化事業（とうみ応援クーポン）	1億2,230万円
指定管理施設営業継続支援事業	1億 500万円
中小企業緊急金融支援基金積立金	8,000万円
飲食業者等緊急支援金	4,260万円
事業継続緊急支援金	3,520万円
衛生・健康対策	
保育園遊戯室空調設備整備	2,305万円
ワクチン接種事業	1,713万円
インフルエンザ予防接種促進事業	1,011万円
院内感染防止対策環境整備	915万円
出産育児支援特別給付金	825万円
新型コロナウイルス感染症検査費用助成	466万円

令和2年度一般会計

災害復旧

災害復旧

14億2,238万円

小・中規模被害の農業施設や農地、道路や橋の復旧は令和2年度末（令和3年3月末）までにほぼ完了しました。また田中橋は県の工事により復旧しました。流出した布下橋、切久保橋、本下之城橋は橋脚の工事が完了または工事中。取付道路の工事も進んでいます。また、大規模に損壊した加沢新堰、川原田用水路の水路や取り入れ口（頭首工）については、水路の復旧が終わり取り入れ口の工事が進んでいます。いずれも令和3年度末令和4年3月の完成予定です。

令和2年度一般会計

新型コロナウイルス感染症対策

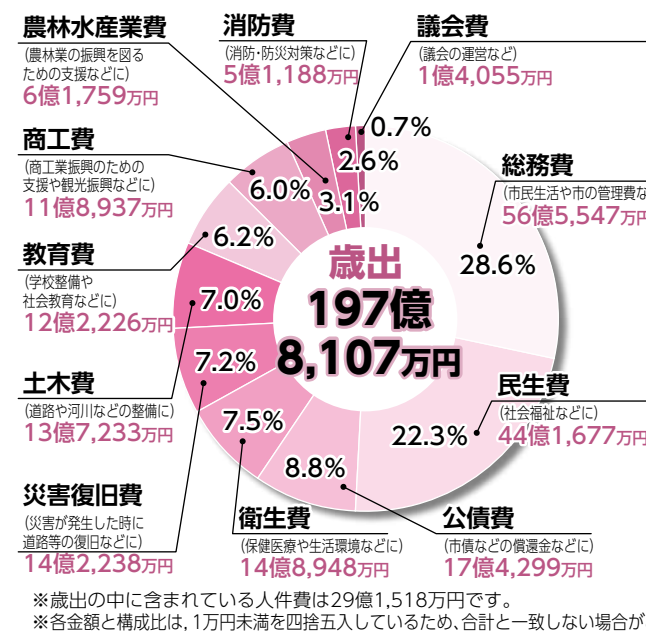
令和2年度一般会計

37億2,342万円

市民病院では、抗原検査機器の導入や、外来患者への感染予防対策での発熱外来の設置、電話によるリモート診療など、感染対策と予防の最前線で現在も力を尽くしています。

教育関係については学校、保育園での感染予防対策で空調設備設置等の環境整備、リモート授業に対応するため、ICT活用促進事業の補助金で、一人ひとりにタブレットが整備されました。ブレットが整備されました。商工関係においては、宣言発出当初から人流の抑制と3密の防止対策で、飲食業、観光業関係に大きな負担がかかることとなりました。

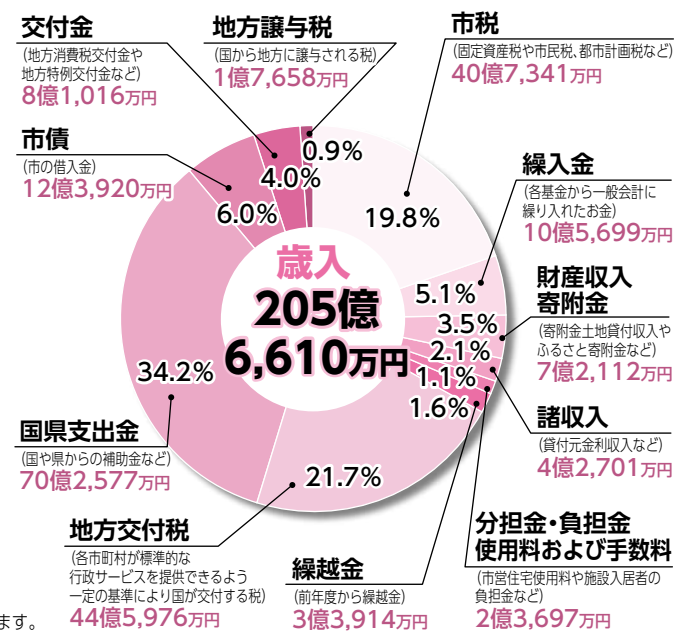
その後またびかさなる自粛要請が出されたことにより、地域経済活性化事業、事業継続緊急支援金等の国や市単独での援助がされてきました。



令和2年度の一般会計決算は、歳入205億6610万円、歳出197億8107万円、差引7億8503万円の黒字となりました。令和元年台風第19号災害からの復旧が進んだ一方、新型コロナウイルス感染症拡大対策をはじめとする重要課題に即対応するため、18回の予算の補正が行われました。

結果、歳出は昨年比39億8646万円の約25%増となりました。市財政の健全性の指標である実質公債費比率は7.6%、将来負担比率は62.8%でいずれも国の基準を満たし、東御市の財政は健全であるといえます。

なお、基金残高の維持を求めた昨年度の附帯意見に対し、事業の合理化、補助事業活用などで補完をはかっているとのことでした。



令和2年度の一般会計決算は、歳入205億6610万円、歳出197億8107万円、差引7億8503万円の黒字となりました。令和元年台風第19号災害からの復旧が進んだ一方、新型コロナウイルス感染症拡大対策をはじめとする重要課題に即対応するため、18回の予算の補正が行われました。

東御市財政の健全化判断比率

代表的な健全化判断比率の実質公債費比率と将来負担比率

実質公債費比率 7.6%

※実質公債費比率は、地方公共団体の借入金（地方債）の返済額（公債費）の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものです。国で定めた基準は25%以内で、それを超えると、国などから起債（借入）ができなくなるなど、市の事業運営が制限されます。

将来負担比率 62.8%

※将来負担比率は、地方公共団体の借入金（地方債）など現在抱えている負債の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものです。数値が大きいほど将来の返済への負担が大きくなります。国が示す基準は350%です。

全会一致で認定

賛成討論

大塚 博文 議員

当初予算156億3千万円、歳出決算額197億8千万円と大きな補正が行われた年度であった。これは新型コロナウイルス対策の特別定額給付金30億円、また令和元年台風第19号災害復旧に関する補助金等が多かったためであり、やりくりしながら行政を運営されてきたことがうかがえる。

決算結果についても、多くの補正がなされたが不明朗な点は見当たらず、本決算是認定すべきと考えます。

まだまだコロナ対策は継続しなければならぬ状況である。この決算結果を参考に、令和3年度の後半の運営、令和4年度の予算案の作成にしっかり取り組まれることを要望し、賛成討論とする。

パンデミックの脅威と戦う

令和2年度
一般会計

健康・福祉

支援体制の充実をはかる

専門職による支援

妊娠出産包括支援事業

決算額 384万円

妊娠・出産・子育てについて専門職による訪問、相談等の支援を行い、育児の孤立化を防ぎ乳幼児虐待を未然に防止すること等を目的とした事業です。

実施内容として、妊産婦を対象に、助産師・保健師・医師等専門職による相談等

の支援を行いました。また、市単独補助事業として、里帰り出産等により県外の医療機関で受けた妊婦健診費用の補助や、不妊および不育症の治療を受ける夫婦の経済的負担の軽減をはかるため、保険適用外治療費の一部補助をしました。

安定した生活に向けて

生活困窮者

自立支援事業

決算額 1876万円

増加傾向にある生活困窮者やひきこもりの方を対象に、相談業務をさらに強化し、自立への支援を実施するとともにそれぞれの生活の安定をはかることを目的とした事業です。

実施内容として、委託先の「まいさぼ東御」と連携し、必要に応じて一人ひとりの状況に応じた自立支援計画を



フードサポートとうみの縁

令和2年度
一般会計

子育て・教育

GIGAスクール構想進む

子育て家庭への支援

愛着形成・育児の孤立化虐待予防のための

早期支援事業

決算額 140万円

親子の愛着形成を促し、子育ての孤立化や虐待を予防するため、学習・親子交流や相談、家庭への個別支援を行う事業です。

実施内容として、各種講座の開催や親子ふれあい遊び、保護者交流の実施、子育て応援ポータルサイト「すくすくぽけっと」による行事のレポートや動画配信の情報発信をしました。

また、保護者による養育が一時的に困難になった児童を児童福祉施設等に一定期間入所させ、必要な保護を行いました。

教育環境の整備

小中学生の学力・体力・道徳力向上事業

決算額 2億7922万円

児童・生徒の学力、体力、道徳力の向上および学校におけるICT環境の整備をはかるための事業です。

実施内容として、市内の小中学校に2509台（全児童・生徒分の学習用タブレット）の整備、学力向上対策講師5名、ALT（外国語指導助手）3名の配置、小学校2年生から中学1年生に対して行う標準学力調査を実施しました。なお、新



小中学校に整備された学習用タブレット

心と身体を育む教育

不登校対策・特別支援

教育事業費

決算額 4406万円

不登校児童・生徒の学校への復帰と学習機会の保障、特別支援教育の充実をはかるインクルーシブ教育（障がいがあるなしに関わらず同じ場所とともに教育を受ける）を目的に行う事業です。

実施内容として、小中学校7校に心の教室相談員7名、通級指導教室指導員1名、特別支援教育支援員21名等の配置をしました。

令和2年度
一般会計

産業・観光

重点事業で継続課題に対応

耕作放棄地対策

荒廃農地復旧対策事業

補助、人・農地プランの実質化など

決算額 157万円

令和2年度は、3065㎡の耕作放棄地が復旧されました。

また、認定農業者に農地を集約し、耕作放棄地を無くす「人・農地プランの実質化」では、「現状と10年後の農地の状態」を表した地図がまとめられました。今後地図をもとにした地域での話し合いを進め、対策にあたるということです。

審査では農協との連携、狭小農地の集約化などを求める意見が出されました。

小規模事業者への支援

商工会運営補助金

決算額 500万円

商工会への補助を通して、起業や小規模事業者の経営

改善のため、経営相談やビジネスサポートの支援を行っています。指導員による店舗などの巡回、窓口相談、経営相談を実施し、販路拡大の相談などにあたるということです。

観光情報の発信

ホームページや

案内看板の整備

決算額 190万円

Wi-Fi環境の整備と池の平湿原へ多言語に対応した看板設置が行われました。

審査では、ホームページの閲覧数が伸びていないことへの質疑がありました。令和2年度の閲覧者は約63万人、前年度から9万人の減少で、コロナ禍の旅行離れが原因と思われるため、ホームページの作り方やリンク設定などの見直しを検討することとした。

令和2年度
一般会計

道路など公共整備

子どもの安全を守る通学路を整備

早期完成が待たれる

道路整備

県東深井線道路整備事業

決算額 5114万円

日向が丘地区における歩行者、通学児童・生徒の安全確保のため、歩道の新設と道路拡張による快適で人に優しい道路環境づくりを進めています。

常田新張線歩道

設置事業

決算額 3010万円

通学路である常田新張線



県東深井線

令和2年度
一般会計

防災・くらし

安心安全で便利なくらし

水害・土砂災害に備えて

ハザードマップ

作成事業

決算額 2303万円

増加する水害や土砂災害に備えて「土砂災害洪水ハザードマップ」と「ため池ハザードマップ」が作成されました。ため池ハザードマップは今回新たに作成され、関係区に配布しました。土砂災害洪水ハザードマップは毎年市民カレンダーに掲載していますが、防災情報も載せ、冊子にして来年度全戸配布することとです。

災害時の共助の基礎

災害時支えあい台帳の作成

決算額 27万円

要配慮者の災害避難や見守りなどのものとなる台帳作成により、地域での支えあい体制を進めています。

現在67区中53区が完成しています。

審査では台帳の更新方法の確立を求める意見がありました。

持続可能な公共交通

交通システム

運行補助金

決算額 7992万円

路線バスの廃止や運転免許返納者の増加などで、地域の持続可能な公共交通システムの確立が課題となっています。

運行中のデマンド交通に対しては、令和2年度4230万円の補助金を出していますが、利用者が減少している状況です。

これからの対策について、市民アンケートでニーズの把握・分析をし、実証実験を行い令和4年までに地域公共交通計画を策定することとした。

令和2年度
特別会計

湯の丸高原屋内運動施設事業特別会計

「コロナ禍の中で通年営業

令和2年度 湯の丸高原屋内
運動施設事業特別会計 概要

歳入	
企業版ふるさと寄附金	5,035万円
個人版ふるさと寄附金	1億3,982万円
一般寄附	2,033万円
ネーミングライツ料	3,500万円
広告看板料	265万円
その他	42万円
繰越金	875万円
歳入合計	2億5,732万円
歳出	
指定管理委託料	3,431万円
一般会計繰出金	1,500万円
基金積立金	1億8,218万円
市債償還金（利子含）	1,991万円
その他	118万円
歳出合計	2億5,258万円
差引	474万円

建設後初めて通年営業

となりました。

となった湯の丸高原屋内運動施設（特設プール）ですが、コロナ禍の影響で利用者は当初見込みより減少し7763人でした。運営費と起債償還の財源となる寄附金は、個人および企業版ふるさと寄附金、一般寄附金を合わせ約2億1050万円。ネーミングライツ料3500万円を確保しました。

支出では、当初7千万円とされた指定管理委託料が、水道光熱費の大幅な縮減により約3431万円と半減

審査では、十分な財源確保と建設費の早期償還、および施設の有効活用と市民理解を求めた平成31年度の附帯意見への対応状況を質問し、「コロナ禍の収束が見通せないなど厳しい状況の中、新規支援先企業の開拓を進めた。市民理解については、引き続き市報などを通じて、得ていきたい」とのことでした。

本会議にて賛成・反対討論がなされた後、賛成多数で認定されました。

賛成討論

田中博文議員

施設利用者の増加により運営の安定も見込め、返済のめどもついてきている。子ども達が一류選手を身近に感じることで良い影響もあり、市民の健康増進としての利活用も望める。市の知名度アップによる間接的経済効果を考えて市のすばらしい財産となる。確実な債務返済と健全運営、ていねいな市民説明を求め賛成とする。

反対討論

窪田俊介議員

五輪が終了し来年の世界水泳で当初の目的の期限がくる。国に移行する議論があってもしかるべき時期に、常設化の話もあるが矛盾がある対応だ。施設に關して改めて市民的議論をするべきだ。もとより一般財源の投入を戒めながら、個人版ふるさと寄附金の市長お任せ分が流入している点でも反対すべきだと判断する。

賛成14／反対 2

賛成多数で
認定



特設プール

令和2年度
特別会計

国民健康保険特別会計

「コロナ禍の受診控えで黒字

歳入 ▶ 30億1,570万円
歳出 ▶ 29億 542千円
差引… 1億1,028万円

「コロナ禍で減収した被保険者に対して保険税の減免（申請113件、減免額1286万円）が行われました。被保険者数は、コロナ禍による影響で0.6%減となった反面、高齢受給者が増加しています。国民健康保険税は、被保険者数の減少等で、対前年度比2.2%減、保険給付費では、8.3%の減となりました。対前年度額が減少した要因は「コロナ禍による受診控えによるものです。特定健診受診率は、どの地区も3.4%減、全体で39.4%（推計値）とのことでした。審査では、がん検診の項目について補助対象の拡充、健康づくり推進員（旧保健指導員）の活動について、負担軽減の検討などの意見と、引き続き国保財政の安定運用を求めました。

令和2年度
特別会計

介護保険特別会計

保険料軽減を完全実施

歳入 ▶ 28億2,809万円
歳出 ▶ 27億8,339千円
差引… 4,470万円

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響で、患者数は減っている中、母乳育児外来や産後ショートステイの利用が増加しています。第3次経営改善計画への具体的な取り組みについては、地域医療部の新設、院内の組織体制の改善、医師を含めたベッドコントロール会議の設置、職員による周知などの報告がありました。

令和2年度
公営企業会計

病院事業会計

「コロナ禍で入院、外来大きく減る

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響で、患者数は減っている中、母乳育児外来や産後ショートステイの利用が増加しています。第3次経営改善計画への具体的な取り組みについては、地域医療部の新設、院内の組織体制の改善、医師を含めたベッドコントロール会議の設置、職員による周知などの報告がありました。

令和2年度
特別会計

後期高齢者医療特別会計

保険料の軽減特例の見直し

歳入 ▶ 3億6,772万円
歳出 ▶ 3億5,342千円
差引… 1,430万円

昨年度に引き続き世代間、世代内の負担公平をはかるため、法改正による保険料率の均等化（40万907円／年と所得割（8.43%）へ軽減の特例の縮減が行われました。また、被保険者数は、高齢化の進行で対前年度比0.8%増でした。このことから、歳入決算額は、対前年度比4.9%増となり現年課税分の収納率は前年度より0.5ポイントの増でした。歳出については、5.0%

令和2年度
公営企業会計

下水道事業会計

経営基盤の充実をはかる

人口減少に伴い下水道処理施設の統廃合を進めています。東部地区では9施設を1施設へ、北御牧地区は8施設を4施設へ統廃合する計画で、決算額は4142万円です。委員から事業実施による効果はどうかの質問があり、農業集落排水の統廃合の事

みまき温泉診療所は保健、医療、介護のセンターとして、介護関連施設との連携のもと外来患者について、前年度比1日平均2.6人増と地域包括システムの構築の必要性が見え



一般会計・公営企業会計補正予算

新型コロナウイルス感染症対策、大雨災害復旧に対応

議案第80号

令和3年度東御市

一般会計補正予算

(第6号)

補正額1億3693万円

新型コロナウイルス対策の梅野記念絵画館空調設備改修、ワフチン接種事業、飲食店応援クーポン、緊急支援金など約8800万円を含む増額補正です。

その他、湯の丸高原荘の暖房と屋根の修繕に700万円、市民プール外トイレ改修に1170万円、中央公園の木道改修に1120万円、和コミュニティセンター空調設備入れ替えに262万円など、公共施設の修繕・改修に補正予算が計上されました。

この内、積雪の重みで破損した湯の丸高原荘屋根改修に関連し、新設された別棟の寒冷地対策を心配する意見があり、市からは、改善が必要な箇所もあるので業

者において検討しているとのことでした。

また、土砂災害洪水ハザードマップが新しくなることから、マップの印刷製本費と更新委託料に709万円が計上されました。新しいハザードマップは来年3月に全戸配布の予定です。各家庭での十分な確認が望まれます。

議案第88号

令和3年度東御市

一般会計補正予算

(第7号)

補正額8310万円

補正の内容は、コロナ禍の影響を受けた市内の事業者、一事業業者あたり10万円を支給する支援金1800万円。本年8月の大雨により被災した農業施設、農地、道路の復旧に要する費用6510万円の増額補正です。

今年8月の大雨被害は、

田畑の法面崩壊などの農地・農業施設関係が33カ所、市道玉の井線の土砂崩落や法面の崩落など道路関係が14カ所と大きな被害が出てしまいました。

市では8月14日から16日にかけて、情報収集や巡視など必要な警戒態勢をとり対応にあたりました。

議案第83号

令和3年度東御市

病院事業会計補正予算

(第1号)

支出補正額2399万円

新型コロナウイルス対策の補助金により、X線透視装置、エコー装置、生体情報モニター、配膳車などを購入するものです。

新型コロナウイルスの「抗体力クテル療法」に関連して、市民病院でも必要な準備を進めるとのことでした。

算2件について、総務産業委員会および社会文教委員会にて行われた予備審査の報告に基づき、議長を除く全議員で審査を行いました。

湯の丸高原屋内運動施設事業特別会計の審査においては反対討論があり、賛成14名、反対2名の賛成多数

で認定すべきものと決定されました。

その他の案件については全会一致で認定・可決すべきものと決定し、本会議にて報告を致しました。なお、一般会計の決算認定にあたり、次のとおり附帯意見をつけました。

令和2年度一般会計決算認定 附帯意見

令和2年度は、令和元年台風第19号災害からの復旧事業や、新型コロナウイルス感染症対策に関連する事業も一因となり厳しい財政運営がなされた。今後も財政の厳しさは続くと思われるが、市民要望に出来るだけ多く応えられるよう、財政運営に努められたい。

予算決算特別委員長 中村 眞一 議員
予算決算特別委員会は、本定例会に提案の令和2年度東御市一般会計決算認定の他、特別会計決算認定5件、公営企業会計認定3件、令和3年度一般会計補正予

決算の議案提出から採決まで

決算審査って何?

議案の採決

予算決算特別委員会
審査

常任委員会
予備審査

総括質疑

議案の提出

議長を除く全議員で構成される**予算決算特別委員会**で、各常任委員会での予備審査内容が報告され、さらに質疑を重ねます。賛成・反対討論(提出されれば)の後、委員会としての採決が行われます。

総務産業委員会、社会文教委員会それぞれで所管課の詳細な予備審査を行います。事前に議員のみで課題や質問を検討します。必要に応じて資料提出を求めます。

所属する常任委員会が所管する課以外の決算に対して総括的な質疑を行います。

決算書やその他の資料を用いながら、市側より説明を受けます。

請願・陳情

《請願第1号》

「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額」と「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める意見書
採択を求める請願書

採択と決定

●本請願は①本年度から小学校での35人学級が5年計画で実現することに伴い、中学も含めさらなる少人数学級推進と教育予算を増額すること②3分の1に引き下げられた国庫負担金を負担率2分の1に還元することを国に意見書として提出

することを求めるものです。

《陳情第13号》

沖縄戦戦没者の遺骨等を含む処理水の海洋放出方針を決めた政府に対し、①ALPS処理水の海洋放出の基本方針を撤回し、陸上保管を継続すること②漁業関係者に謝罪することなどを求めるものです。

不採択と決定

●本陳情は①戦没者の遺骨などが混入した土砂を埋め立てに使用しないこと②日本政府が主体となつて戦没者の遺骨収集を実施することとを求めるものです。

審査では「人情としては理解できるが、市町村議会の権限で判断できることではない」との意見が出されました。

本会議にて「人道上許されるものではない」との不採択に対する反対討論がありましたが、採決の結果不採択と決定されました。

《陳情第14号》

トリチウムなどの放射性核種を含むALPS処理水の海洋放出方針決定の撤回を求める陳情
不採択と決定

●本陳情は、約2年程度の準備期間の後、トリチウムを含む処理水の海洋放出方針を決めた政府に対し、①ALPS処理水の海洋放出の基本方針を撤回し、陸上保管を継続すること②漁業関係者に謝罪することなどを求めるものです。

審査では「国では、世界保健機構の飲料水基準の7分の1程度にまで薄めたうえで放出すること、環境庁が新たにトリチウム濃度のモニタリングを実施すること、また風評被害については東京電力に対して賠償するよう指導していることなどを踏まえ、問題はないと思われる」などの意見が出されました。

本会議にて「関係者の理解無く処理水の処分は行わないとの約束を反故にし、風評被害も起きる。東電の保証も信頼できない」との不採択に対する反対討論がありました。採決の結果不採択と決定されました。

今年度はコロナ禍のため議会報告会を動画配信します!

議会 Web 報告会

東御市公式 YouTube チャンネルでご視聴ください!



11月12日~
配信予定!

市政を問う



一般質問

一般質問項目

- 田中 信寿**
●湯の丸高原スポーツ交流施設の現状と今後について
- 村山 弘子**
●持続可能な公共交通のこれからの方向について
●総合型地域スポーツクラブについて
●災害時の市民への周知の方法について
- 瀬田 智之**
●総合型地域スポーツクラブSany TOMIについて
●市内中学校の部活動について
- 花岡 豊一**
●市民への情報伝達について
●東御市シティプロモーション戦略について
- 佐藤 千枝**
●とうみ気候非常事態宣言に基づく具体的な取り組みについて
- 田中 博文**
●フィルムコミッションについて
●土砂等の災害対策について

- 斉藤 哲**
●長引く新型コロナウイルス感染症で低迷している景気対策について
- 西山 福恵**
●市内の通学路における合同点検について
●認知症高齢者等にやさしい地域づくりについて
- 高木 真由美**
●防災・減災・国土強靱化のための対策について
- 大塚 博文**
●小学校校舎の維持管理について
●観光消費額について
- 市毛 真弓**
●特別障害者手当について
●障がい福祉サービスの取り組みについて
- 窪田 俊介**
●市におけるインボイス制度の影響について
●高地トレーニング関連施設について
●新型コロナウイルス対策について
- 中村 眞一**
●病院事業の状況と経営改善計画について



常設化を目指している湯の丸屋内特設プール

- 企画振興部長**
2万210人（平成30年11月〜本年7月）。屋内プール状況はどうか。
- 企画振興部長**
陸上施設は2万210人（平成30年11月〜本年7月）。屋内プール状況はどうか。
- 企画振興部長**
今年度の寄附金の状況は企業版、個人版ふるさと納税と一般寄附を合わせ、1億245万円で見込みを上回り起債償還のための基金の積み上げも順調である。
- 企画振興部長**
早期償還の見込みはどうか。
- 企画振興部長**
修繕なども寄附金等で賄い一般財源は使わない。そのための長期計画を立て基金を造成する。

- 問**
湯の丸屋内プール常設化の財源確保の根拠は何か
- 答**
湯の丸屋内プール常設化の財源確保の根拠は何か
- 問**
運営費削減などで財政課題が解消されたことである
- 答**
運営費削減などで財政課題が解消されたことである



田中 信寿議員

令和3年
9月

定例会の提出案件の審議結果

採決結果:○は全会一致
○は賛成多数 ×は否決

議案番号	案 件	採決結果	予算決算特別委員会 審査結果
令和2年度東御市歳入歳出決算（関連記事P 2～7）			
議案第71号	令和2年度東御市一般会計歳入歳出決算認定について 歳入205億6,610万、歳出197億8,107万円で7億8,503万円の黒字	○	○
議案第72号	令和2年度東御市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について 歳入30億1,570万円、歳出29億542万円で1億1,028万円の黒字	○	○
議案第73号	令和2年度東御市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について 歳入28億2,809万円、歳出27億8,339万円で4,470万円の黒字	○	○
議案第74号	令和2年度東御市地域改善地区住宅改修資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について 歳入93万円、歳出608万円で515万円の赤字	○	○
議案第75号	令和2年度東御市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について 歳入3億6,772万円、歳出3億5,342万円で1,430万円の黒字	○	○
議案第76号	令和2年度東御市湯の丸高原屋内運動施設事業特別会計歳入歳出決算認定について 歳入2億5,732万円、歳出2億5,258万円で474万円の黒字	○	○
議案第77号	令和2年度東御市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について 当年度純利益1億2,687万円	○	○
議案第78号	令和2年度東御市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について 当年度純利益1億5,568万円	○	○
議案第79号	令和2年度東御市病院事業会計決算認定について 当年度純損失2,375万円	○	○
令和3年度東御市補正予算（関連記事P 8）			
議案第80号	令和3年度東御市一般会計補正予算（第6号） 施設の改修工事費等、歳入歳出それぞれ1億3,693万円を増額	○	○
議案第81号	令和3年度東御市介護保険特別会計補正予算（第1号） 給付金の確定により、歳入歳出それぞれ1,091万円を増額	○	○
議案第82号	令和3年度東御市湯の丸高原屋内運動施設事業特別会計補正予算（第1号） 個人版ふるさと納税の経費率の確定に伴い、829万円を増額	○	○
議案第83号	令和3年度東御市病院事業会計補正予算（第1号） 新型コロナウイルス感染症の補助金により、X線透視装置などを購入するため2,399万円を増額	○	○
議案第88号	令和3年度東御市一般会計補正予算（第7号） 主に8月の大雨による災害復旧等のため、歳入歳出それぞれ8,310万円を増額	○	○
条例の制定および一部改正（3件）		採決結果	常任委員会審査結果 総務産業 社会文教
議案第84号	東御市湯の丸高原テレワーク施設条例 東御市湯の丸高原テレワーク施設の設置及び管理に関し必要な事項を定めるもの	○	○ —
議案第85号	東御市営住宅に関する条例の一部を改正する条例 東御市公営住宅長寿命化計画に基づき、姪子沢住宅を廃止するもの	○	○ —
議案第86号	東御市個人番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例 個人番号の利用などに関する法律の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの	○	○ —
人事案件			
議案第87号	人権擁護委員候補者の推薦について 荻原輝久さん（再任）	○	— —
請願・陳情（関連記事P 8）			
請願第1号	「『さらなる少人数学級推進と教育予算の増額』と『義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充』を求める意見書」採択を求める請願書	採択	— 採択
陳情第12号	辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の採択を求める陳情	議席配布	— —
陳情第13号	沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋立てに使用しないよう求める陳情	不採択	— 不採択
陳情第14号	トリチウムなどの放射性核種を含むALPS処理水の海洋放出方針決定の撤回を求める陳情	不採択	— 不採択
議員提出議案			
議員提出議案第3号	「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額」と「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める意見書の提出について	○	—
議員提出議案第4号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について	○	—

常任委員会審査結果の「—」印は、常任委員会に付託されなかった案件です。

令和3年
9月

定例会の議決結果

下記以外の議案等は、全会一致でした。

議案番号	会派名・議員名 案 件	さわやかな風の会								東翔の会				公明党		日本共産党		
		長越修一	依田俊良	山崎康一	中村眞一	花岡豊一	村山弘子	斉藤哲	滝澤栄一	田中博文	佐藤千枝	田中信寿	瀬田智之	大塚博文	高木真由美	西山福恵	窪田俊介	市毛真弓
議案第76号	令和２年度東御市湯の丸高原屋内運動施設事業特別会計歳入歳出決算認定について	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
陳情第13号	沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋立てに使用しないよう求める陳情	/	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○
陳情第14号	トリチウムなどの放射性核種を含むＡＬＰＳ処理水の海洋放出方針決定の撤回を求める陳情	/	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○

本会議での各議員の賛否（賛成・採択「○」、反対・不採択「●」、退席「退」、議長「/」、欠席「欠」）



LINE メニュー

問 市の情報伝達に現在、どのような方法が利用されているのか。

企画振興部長 紙媒体として、市報とチラシによる回覧のほか、市報と同じ内容を、登録者9千人を超えたLINEで配信。他にメール@とうみなど合計6つの電子媒体を利用して、幅広い年齢層と多くの市民に情

問 東御市シティプロモーション戦略のECサイトを活用したインターネット販売などの状況はどうか。

シティブロモーション事業について

企画振興部長 ECサイトを現在31の事業者が利用している。運営経費との兼ね合いで、商品は通年販売ができるものが選ばれている。今後、商品により多くの事業者が出店できるよう、引き続き取り組んでいく。

問 ロゴマークの活用で、地域産品と東御市を強くつなげるようなメッセージのアレンジは考えているか。

企画振興部長 5月に制定したロゴマークは、市の関係者や民間による印刷物での利活用が広がってきている。市民の皆さまが市への愛着や誇りと共に、オールとうみで統一感を持って取り組むことが重要と考えており、アレンジは想定していない。



はなおか ともかす
花岡 豊一議員

問 市民への情報伝達は、現在どのようなになっているか。

答 市報等をデジタル化し手軽に取得できるようしている



子ども達の放課後活動 げんき塾の様子

問 今後の計画と会費は。

企画振興部長 設立準備委員会が入会規程を協議し9月末から会費を募集し来年の2月設立を目指している。年会費は、未就学児千円、小中学生2千円、高校生以上4千円、65

問 LINEを使って市内の河川の増水や災害状況を伝えてほしいがどうか。

企画振興部長 今後LINEも生かし市内の川の増水や氾濫状況、市民の皆様が必要としている災害状況について発信できるよう検討していく。

災害時の市民への周知方法

総合型地域スポーツクラブ

歳以上2千円を考えている。家族会員や企業会員の創設も検討している。近隣市町村の総合型地域スポーツクラブと同水準にする。

問 特定スポーツの選手育成は考えているか。

企画振興部長 地域住民のニーズに答えることを念頭に置いてプログラムを提供していく。



むらやま ひろこ
村山 弘子議員

問 持続可能な公共交通の、これからの方向は

答 市民の声を聞き協議会で検討し、令和4年に成案化する



さとう ちか
佐藤 千枝議員

問 とうみ気候非常事態宣言後の取り組み状況は

答 市民に対し、省エネにつながる活動を提案している



Sany TOMI ダンス講師SONAさん

問 Sany TOMIとしての部活の受け皿の考えは。

企画振興部長 設立準備委員会において議論している。まずは中学校からの指導者派遣の要請に応えられるよう新たにスポーツ人材バンク制度を立ち上げ、取り組んでいく。

問 体験会の予約状況と参加者の声は。

企画振興部長 これまでにカヌー・ダンススクール・マットプラスの体験会を行った。定員を超える予約もいただいている。参加者の声としては、マットプラスでは参加者全員から「楽しいからぜひもう1度参加したい」という感想を聞いた。

問 中学校部活動の課題は。

教育長 一定の指導ができる指導者の不足がある。専門外や経験したことのない方が顧問になると技術的指導が難しく、また勤務時間を超える指導になるため、教職員の負担感につながる。休日の部活動の段階



せと ともき
瀬田 智之議員

問 新しく参加する予定のプログラム等は

答 2つのダンスプログラムの常設開講を考えている



市内小中学生参加による環境学習のテキスト

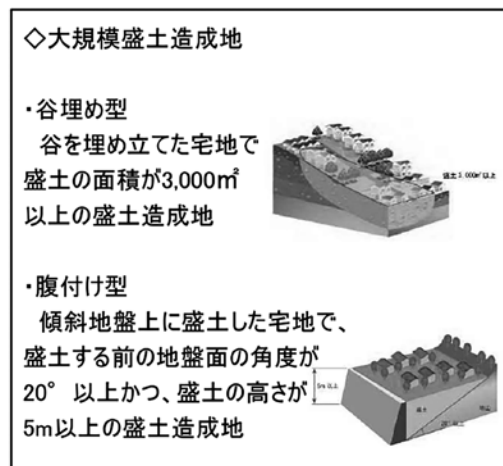
問 今後、市民とともにどのような施策で取り組むのか。

民生生活部長 すでに3つの区分で再資源化等をはかっており大きく変わらないうえ、変更の必要が生じた場合は、市民や事業者への周知徹底をはかっていく。



認知症予防の特集記事を掲載した市報とうみ

※他に、通学路合同点検について質問した。



2種類ある大規模盛土

健康福祉部長 配慮が必要な方に対しては、関係機関と連携を取りながら、必要に応じて福祉避難所に避難してもらう。教育現場における防災教育の現状はどうか。教育長 危険が予想される事案に対して、子どもたちが安全に身を守るよう指導している。



田中 博文議員

問 ため池ハザードマップを、全区配布できないか
答 区ごとに内容は異なり、全区への配布は考えていない



斉藤 哲議員

問 新型コロナウイルス感染症で、低迷の経済への対策は、飲食店と関連業者に協力金の支給とクーポン券の発行
答

問 市内のため池の災害対策はどうか。総務部長 国が策定した選定基準にのっとり、市内に159カ所ある全体的ため池を対象として、強度など

の調査を行い、49カ所の防災重点ため池を選定した。問 選定基準は。産業経済部長 決壊した場合、人的被害を与えるおそれのため池を3段階の判断基準で選定した。

問 全国的にワクチン接種が進むものの7月、8月は第5波の猛威が収まらず、県内では飲食店に対し8月9日から1カ月にも及ぶ営業時間短縮の要請が出され

た。令和2年1月に国内で最初の感染者が発見されてから早くも1年8カ月が経過、市民は疲弊し経済は低迷の一途をたどるが、これまで市民を対象に行われた経済対策と今後の予定はどうか。産業経済部長 昨年度実施した主なものは、国民1人当たり特別定額給付金10万円を支給した。その他市民1人当たり3千円分のとうみ応援クーポン券を配布し、この



市内のため池の一つ 和池

問 防災重点ため池は何か。産業経済部長 防災重点ため池は、おおむね5年に一度定期点検を行う。今年度は20カ所の点検を行う予定。問 東御市にフィルムコミッションを設立することについてどう考えているか。産業経済部長 現状で市に寄せられる口げ地紹介、取材の依頼件数を見ると、独自にフィルムコミッションを設立するほどのボリュームはないが、近隣のフィルムコミッションの活動を参考にコミッションの必要性について研究をしていきたい。



昨年度実施した景気対策

問 市における土砂災害等の危険箇所の把握はどうか。市における土砂災害等の危険箇所の把握はどうか。答 土砂災害危険箇所パトロールを実施している。問 高齢者や障がい者等、一人で避難できない方に対する避難支援について。健康福祉部長 配慮が必要な方に対しては、関係機関と連携を取りながら、必要に応じて福祉避難所に避難してもらう。問 教育現場における防災教育の現状はどうか。教育長 危険が予想される事案に対して、子どもたちが安全に身を守るよう指導している。



西山 福恵議員

問 医療と介護の相談窓口の現状はどうか
答 関係機関とのパイプ役として、連携を進めている



高木 真由美議員

問 市における土砂災害等の危険箇所の把握はどうか。市における土砂災害等の危険箇所の把握はどうか。答 土砂災害危険箇所パトロールを実施している。



湯の丸高原屋内運動施設（高地トレーニング用プール）

問 高地トレーニングは、プールでのトレーニングは、まだ探究段階にある。プールができればメダル量産だと、事業の口実にしてきたのは違っていたと確認できた。

答 オリンピックが終わった今、検証が必要だ。その起点は平成29年7月に市独自事業として建設に乗り出したときだ。オリンピックに貢献したいので、次善の策として市単独事業で実施すると、全て寄附金で賄い、仮設プールとして3年で解体するとした。改めて、トップアスリートに対する支援は国が責任を持つべきという認識で変わっていない。

市長 国が責任を持つべきだと今も認識しているが、国が認識しているかどうかは別の問題とすることだ。

問 経緯について、平成30、31年度と企業版ふるさと寄附が目標を達成できず、起債で対応することになり、返済期間の10年間を施設維持することになった。そういう認識で良いか。

市長 3年間の運営費で2億1000万円を市が支出する。いつまでも続けるわけにはいかないの、3年間という限定が出た。起債と運営費も含めて寄附でまかなっていくお願いをした経緯がある。変更された後の計画を見ると、国が起債額の3割を面倒見ていた、だくという関係に入っていたと認識している。



市民病院地域医療部の打ち合わせ会議

問 今年度から始まった。

答 今年度から始まった。

病院事業第3次経営改善計画による取り組みでは、進捗管理をするための目標値を設定し、具体的な取り組み内容も明らかにすること、ことだつたが、その取り組み内容と進捗状況はどうか。

病院事務長 経営改善に向けては、診療に関する目標値の再設定や、人員配置に係る職員の削減、一般会計からの繰入金削減などの目標値を設定する。具体的には、指揮命令系統や意思決定に係る会議を再編しての連携強化、時間外等の受け入れ体制を強化、新設の地域医療部が主導する在宅医療の拡充などによる地域医療連携、幹部職員学習会など、職員のスキルアップや財務改善を目指すなどの取り組みを進めている。



池田 俊介議員

問 湯の丸プールはメダルラッシュにつながったのか

答 オリンピックではメダルラッシュにつながらなかった



中村 真一議員

問 病院事業の状況と経営改善はどうか

答 第3次改善計画を基に順調にスタートしている



大塚 博文議員

問 小学校校舎の維持・改修はどうなっているか

答 長寿命化計画と改修要望に従い実施している



塗装が傷んだ校舎

問 校舎を長寿命化するには外壁のひび割れ対策、屋根の雨漏り対策、体育館や教室の床の整備等、具体的な改修が重要と考える。実際に見学した小学校では劣化が著しかった。

答 校舎を長寿命化するには外壁のひび割れ対策、屋根の雨漏り対策、体育館や教室の床の整備等、具体的な改修が重要と考える。実際に見学した小学校では劣化が著しかった。

問 第2次総合計画に設定されている観光消費額の目標値50億5千万円はどのように算出されたものか。

産業経済部長 湯の丸、海野宿、芸術むらの観光客数に一人当たりの消費額を乗じた金額である。スポーツ・ウィントーリズム等を推進し現状の約85万人から約5万人増加させ目標を達成したい。

観光消費額について 第2次総合計画に設定されている観光消費額の目標値50億5千万円はどのように算出されたものか。

産業経済部長 湯の丸、海野宿、芸術むらの観光客数に一人当たりの消費額を乗じた金額である。スポーツ・ウィントーリズム等を推進し現状の約85万人から約5万人増加させ目標を達成したい。

特別障害者手当 該当となる障害の程度	
視覚	両目の視力の和が0.04以下のもの
聴覚	両耳の聴力レベルが100デシベル以上のもの
上肢	両上肢の機能に著しい障害を有するもの又は両上肢のすべての指を欠くもの若しくは両上肢のすべての指の機能に著しい障害を有するもの
下肢	両下肢の機能に著しい障害を有するもの又は両下肢を足関節以上で欠くもの
体幹	体幹の機能に座っていることができない程度又は立ち上がることができない程度の障害を有するもの
その他	身体の機能の障害又は長期にわたる安静を必要とする病状が前各号と同程度以上と認められる状態であって、日常生活の用を弁ずることを不能ならしめる程度のもの
精神	精神の障害であって、前各号と同程度以上と認められる程度のもの

国の定めた障がい区分

問 要介護4、5の方や障がい者手帳がなくとも申請できる制度

答 要介護4、5の方や障がい者手帳がなくとも申請できる制度

問 東御市にはない事業だが県内で37の市町村で行っている。前向きに取り組むべきではないか。

市長 障がい者の皆さんが安心して生活できる社会を実現するために、必要となるに必要施策をやるのが重要。提案の事業も含め、行政が果たす役割をしっかりと果たしていかなければいけないということを感じている。

支援施設に通所する際の交通費補助を 東御市にはない事業だが県内で37の市町村で行っている。前向きに取り組むべきではないか。

市長 障がい者の皆さんが安心して生活できる社会を実現するために、必要となるに必要施策をやるのが重要。提案の事業も含め、行政が果たす役割をしっかりと果たしていかなければいけないということを感じている。



市毛 真弓議員

問 特別障害者手当の利用促進のためにすべきことは何か

答 ホームページやしおりの刷新と市報を活用し周知する

きらり★キラリ

奥さんの支えに感謝しつつエネルギーに活動

「とうみ歴史研究会」を立ち上げ、代表になられた武舎秀雄さんに
今までの活動の様子や、これからの思いをお聞きしました。

生い立ち

昭和16年ソウルで生まれました。昭和21年、5歳の時に父の実家である田沢へ来ました。現在80歳です。

趣味は何ですか

一番の趣味は、30代から始めた地域の歴史を調べることです。海野の歴史からスタートし、本も出しました。海野歴史研究会も友人と立ち上げました。ホームページ「歴史研究海野」があるので見て欲しいです。他に日本百名山などの登山や、長い間指導していたテニスもあります。

元気の秘訣は

毎朝、布団の中で10分ストレッチや足先のマッサージをしています。その後、ルーティーンとなっている家のことをした後、3キロほどを40分かけて歩いています。

また、74歳位まで通っていた温泉アクティブセンターではよく泳ぎました。毎日、晩酌をし、日本酒を1合飲んでいきます。高校から毎日続けてい

今までの思い出は

商工会にいた頃は、仲間と力やアイデアを合わせていろんな事をやりました。雷電まつりの名前を考えたり、ドッジボール大会をやったり、とにかく1月から12月まで毎月イベントをやっていました。地域に根ざしたイベントは大切です。

今後やりたいことは

地域で協力していろんな事をやりたいです。大きな事としては「全国海野氏大会」をやりたいです。やはり市の特徴を出していくことは大切だと思

ます。スポーツも好きです。もつと盛んにしたいです。個人としてやりたいことは、東御市の風景を描いて記録として残したいと考えています。今から楽しみます。

*歴史のこと、東御市のこと、趣味のこと、お話を引き出しがいろいろあつてキラキラしている武舎さんにたくさん刺激を受けました。
*これからの活躍、活動が楽しみです。
(取材/大塚・村山)



議会傍聴へ お越しく下さい

令和3年12月定例会における
一般質問は
12月7日・8日に予定されています。

本会議、全員協議会、常任委員会、特別委員会は傍聴することができます。

定例会の日程は、確定後、東御市議会ホームページに掲載しますので、ご確認ください。

※一般質問の日程は変更となる場合があります。

あ と が き

昨年11月の東御市議会の改選により広報調査特別委員会も新体制でスタートして、早1年が経とうとしています。また「議会広報モニター」設置より4年目となりますが、モニターさんに率直なご意見をいただきながら、あらためて広報のあり方を模索しているところです。今後も、皆さんの声にしっかりと耳を傾け、市政に反映させていきたいと思っています。様々なご意見をお寄せいただきますよう、よろしくお願いいたします。

高木真由美

広報委員

田中 信寿
瀬田 智之
村山 弘子
市毛 真弓
花岡 豊一
大塚 博文
高木 由美
佐藤 千枝
長越 修一

市議会だよりについて、ご意見・ご感想をお寄せください。

【発行・お問い合わせ】

東御市議会・事務局

〒389-0592 長野県東御市県281-2

TEL.0268-64-5810

FAX.0268-62-5040



古紙パルプ配合率80%再生紙を使用
再生紙を使用しています。
植物油インキを使用しています。



[東御市議会広報紙] 第71号 ◆発行/東御市議会 ◆発行責任者/東御市議会議長 長越 修一
◆発行日/令和3年11月1日 ◆編集/東御市議会広報調査特別委員会 印刷/中澤印刷株式会社